

オランダ国際球根協会ニュースレター 2010年08月号 VOL.017

厳しい暑さが続いています。夏も後半戦、体をいたわりつつ元気に乗り切りましょう！ さあ、まずはお知らせから。

10月末に幕張メッセで行われる【IFEXの専門セミナーF3】に、IBCのレン・オークメイトが講師として登場いたします。ぜひ、スケジュールに入れておいてください。欧米のトレンドやディスプレイ、球根販売についてのヒントが盛りだくさん！

【テーマ】「売上拡大の秘策！ 球根の最新ディスプレイと販売戦略」

【内容】アンケートによれば、花を買うショッパーは「安さ」ではなく「魅力」を重視している。色・形・種類が豊富な球根は、花の魅力を伝える格好の材料。欧米の最新トレンドを取り入れた球根切花・ドライセール用球根の売れるディスプレイと販売方法を提案します。期日は、10月28日(木)12:30~13:30 ぜひ、聞きに来てください！

CONTENTS

- ワールドカップに合わせてのオランダの花 キャンペーン【 オレンジの理由は？ 】
- 世界的に活躍するオランダ人 フラワーアレンジャーの使命【 世界で活躍するオランダ人 】
- アリウムの生産育種家の Ton Langedijk さん【 オランダの球根生産者物語 】

CONTENTS

ワールドカップに合わせての「オランダの花」キャンペーン【 オレンジのわけは？ 】

日本でも盛り上がった今年のサッカーワールドカップ。オランダは決勝戦まで勝ち進み大変な熱狂だったようです。[オランダの花情報案内人、鈴木のリ子さん](#)にスーパーマーケットでもらったというグラスを見せてもらいました。これは、リプトン社がサッカー協会と作った「予選グループE」の対戦国国旗と試合の日が書かれた販促グッズ。商品を規定の数買うともらえる。人気だったそうです。



オランダのチームカラーのオレンジも話題になっていました。代表のユニフォームが国旗にない色を使っているのは珍しいそうですね(日本も)。このオレンジは、オランダ王国の王家「Oranje van Nassau オレンジ(オランニエ)・ナッソウ家」に由来する色。「オランダ王国」独立の指揮を執ったオランニエ公ウィレム1世に仕える人たちの服の色からきているといわれています。

オランダの国旗は水平に赤、白、青の三色旗。(最初に三色旗をデザインしたのはオランダなのだそう。)のちにロシア、フランス、欧州、中南米、アフリカの国旗によく見られるようになったそうです。ワールドカップ開催の南アフリカの国旗の歴史にも深く関わっています。



1568年に始まったスペインとの独立戦争ではオランニエ(オレンジ)公ウィレム一世のリーダーシップと国民の団結で勝利しました。そこで、同公家の紋章がオレンジ色の房紐で飾られた青い角笛だったことから、この三色に決まったそうです。ところがこの三色旗、オレンジでは海上で不鮮明なため、赤が使われるようになったそうです。

今年はあと少しで悲願の優勝を狙えるところまで行きました。決勝戦直前の盛り上がりはたいへんなものだったようです。オランダとスペインでは、同じ日に空中からお花が撒かれました。これもオランダの花のキャンペーンの一環だったそうです。人々があっと驚くような思い切ったことをスマートに、軽々と実現してしまうのがオランダ！

動画：http://www.youtube.com/watch?v=91kFH8J_IWY

世界的に活躍するオランダ人 フラワーアレンジャーの使命

世界的に有名なオランダの花と並んで、世界中で活躍しているオランダ人のフラワーアレンジャーがたくさんいるということをご存知でしょうか。

彼らの活躍によって、国際見本市、イベント、王族の結婚式にオランダの花アレンジが見られるだけでなく、世界中のカトリック教徒の祭日となる復活祭（今年は4月3日）には、ローマ（バチカン市国）のサンピエトロ広場を埋め尽くすオランダの花アレンジが有名で、毎年、世界中に TV 放映されるほどです。

世界ベースで活躍するオランダ人のフラワーアレンジャーは、そのノウハウと経験からも、若い世代への教育面でも、リーダー的地位にあると言えます。フラワービジネスのチェーンからの招待や、専門会議、教育研究所関係のルートだけでなく、オランダの輸出業者らによるバックアップも忘れてはなりません。

例として、ネザーランド アグリビジネス サポートオフィス（NABSO）やオランダの農業・自然・食品安全省（LNV）などがあげられます。昨年 NABSO は、このところオランダの花の重要な供給先であるロシアの園芸セクターを対象にセミナーを開催しました。

新しい輸出先である東ヨーロッパ諸国では、商品である花、プレゼンテーション、扱い方のノウハウが残念ながらまだ希望されるレベルには至っていません。強いては商品への信頼にマイナスの影響を与えかねない。オランダから輸出され、輸入業者に至るまではトップのコンディションであっても、そこから先、現地の消費者の元に届くまでに品質の低下が著しいのです。原因は現地の業者の取り扱い方やプレゼンテーションのノウハウの欠乏にあると言えます。ロシアの消費者にいかにかオリティーの高いオランダの花が届けるか、といったところでもオランダの業者が力を入れています。



アリウムの生産育種家の Ton Langedijk さん 【 オランダの球根生産者物語 by Leontine Trijber 】



Zwaagdijk (ズワークダイク) 市の Ton Langedijk (トン・ラングダイク) 氏は、球根の育種と栽培の専門家で、特にアリウム (園芸装飾用オニオン類) の種類を専門にしています。40 年以上球根の仕事が続けながら、未だに自分の仕事を愛し、このエレガントな球根植物の品種改良、栽培を続けています。

アリウムは、手がかからず育てやすい植物

「アリウムを育てて 40 年にもなるが、私は未だに自分の畑で育てる新しい特徴のある植物を探している。」

「アリウムの育種は、とても忍耐強く、たくさんの幸運を持っている必要がある。」

「私たち球根育種家は、球根が死ぬほど好きであるべきで、そうでなければこの仕事をしないだろう。」



「アリウムの栽培家、品種改良家は、多くの忍耐と幸運が必要だ。」と、Ton さんは言います。「幸運にも私は明らかに両方を持っているようだ。なぜなら、私は今まで約 20 品種を世に出し、その内の 15 品種は現在ある品種の中でも中心的役割を担っているのだから。それに私は引退するつもりもない。今でも畑に出て、何か新しいものを見つけることを楽しんでいる。家族はいつも私が暗くなっても畑にいるのを見ているし、私は次に期待できそうなどんな植物が現れるかという思いを止めることはできない。例えばもっと長い丈夫な茎や、できればもっと深い色のより美しい花など、常に新しい発見を探し求めている。」

球根育種家である私達は、球根が大好きであるべきで、そうでなければこの仕事をしていないだろう。すでにトップに立った後、それを保ち続けるのはますます困難なことだ。しかしそれがまさに球根の育種家だ。いくつかの品種、アリウム・アンバサダーやアリウム・マウントエベレストなどは、すでに完璧の極みであり、わたしがすることは何も残っていない。育種家である私が挑戦するのは、他の誰も持っていない何か、まだ存在しない何かを考え出すことであり、今あるものに改良を加えることだ。とても難しいことだが、だからこそ多くの忍耐が必要なのだ。」

当時私を止めるものは何もなかった

1975 年に私が *allium aflatunense* アリウム・アフラツネンセを知ったとき、私を止めるものは何もなかった。短いもの、長いもの、早咲き、遅咲き、暗い色、明るい色、育種家が求めるのは、北欧神話のバルハラのようなものだ。5000 もの品種から私はすぐに 4993 品種をコンポストに投げ込み、さらに選別するため 7 品種を出発点とした。結局、選別作業に没頭する 5 年を費やし、ベストの中のベストが残った。こうして *Allium purple surprise* A・パープルサプライズを育成した。



ベストな方法

「アリウムは種から栽培できたり、球根から野菜のように増やすこともできる。前者はより速い結果を出す (平均 3 年くらい) が、種から育てたアリウムは想像もしないような種類を生み出すことがよくある。つまり、色が統一

されていないかったり、オークションでは歓迎されないようなものも出てくることがあるけれども、ということだ。だから私は新しい種類を見つけようとするときは必ず種から栽培する。ある特定の品種を栽培しようとする時はそうはしないが。

もうひとつの栽培方法は、vegetative 栄養繁殖法であり、何倍も時間が必要だ。栄養繁殖法とは球根を使う。球根は、分割したり、小さい球根が元の球根にくっついていたりする。このような小球根はすべて同じ性質を持ち、高さ、色、開花期間が揃う。A.atropurpureum, A.Fimament, A.Mercuriusのような早く育つアリウムはたくさんの球根小片を生産するので、大量に増やすことができる。最初の球根から始まり、約8~10年で球根が売れるようになる。A.Pinbal Wizard, A.Atlas, A.Universeなどの遅く育つ球根は同じ結果を得るまで16年くらいかかるだろう。

この熱心な「球根遺伝子」

他の多くの球根生産者の家系と同様に、私達の遺伝子にも球根栽培が入っている。私の父も祖父も球根生産者だった。当時はグラジオラス、チューリップ、アネモネだけだった。私が最初にアリウムを見たのは、1968年、15歳の時、園芸学校の遠足の時だった。訪ねた庭には2種類のアリウムがあった。A.moly アリウム・モーリーが15cmくらい、A.giganteum ギガンジウムがその名の通り150cmの高さだった。たった1つの品種で、これほど大きな違い！私の好奇心は急激に呼び起された。



一度目を開かされ、心が魅了されてしまうと、後は単純だ。当然私はすぐに多くを発見した。800~1000品種もあり、その内50くらいの栽培品種が商品として栽培されているのだから。例えばその内の1つに、A.Christophii クリストフィアがあった。このアリウムは独特の花を持ち、花は愛らしく、完璧で、ドライフラワーでもずっと人気だった。A.schubertii シュベルティも印象的で、35cm以上の大きな星のような花だった。25年前(1985)この美しい花はオークションで1本8ギルダー(@70として560円)にもなった！もうずいぶん昔の話になったが、栽培の難しさや花の保管と輸送の問題もあって、今でも比較的高価な品種となっている。私も今でもいくつか育てているが、とてもよいギフトになる花だと思う。花瓶に1本のシュベルティがあれば、たちま



ち 6～7カ月も楽しめる大きな花束となる。ただしそのためには花に水をやらないこと。そうすれば花は乾いてドライフラワーになるから。私に言わせれば、花の性質からアリウムは、庭で印象的にみせるには5月後半から7月にかけてがよい。他にドライフラワーに適している品種は、Allium christopyii, Allium Forelock だ。

アリウムを植える

アリウムを植えるのにベストなのは10月から12月中旬である。必ず日当たりのよい風通しの良い広い場所を選ぶこと。植える時期はもう少し遅くてもよいが、まだ根を出していない新しく植える球根は、根を出した球根よりも霜に弱い。遅めに植えて霜がおりそうだったら、葉の出るところにひと回り大きくマルチを施す。アリウムは球根に10cm くらい土をかぶせて植えること。

アリウム類についてのおばさんたちのいいぐさ



園芸装飾用アリウム類の葉は、茎とつぼみが出て、豪華な花が咲き終わるまでの時にはだらしなくなって、あまり魅力的でない。どうせ、その頃には花はすでに球根内にできているのだから、手っ取り早くすると、葉は、見苦しくなったら取り去ってしまっても構わないんじゃないのか、というおばさんたちのいいぐさがある。しかし、ほんとうは、しばらくの間、葉は残しておいて、茶色い葉も受け入れた方がよい。葉は、花が咲き終わるまで取らない方がよいのだ。その理由は、植物はまだ葉から養分を吸収していて、そうやって球根が発育し、結果翌年の花のためになるからだ。花は8月、9月以前には球根内で形成が始まらない。今では、Allium Mount Everest マウントエベレスト、A.His Excellency エクセレンシー、A. Ambassador アンバサダー、A.Mercurius マーキュリー、A.shebertii シュベルティのように、長い間葉も魅力的な品種もある。

とてもすごい花

A.Ambassador アンバサダーのようないくつかの種類は一本の頭花に2000もの個々の小さな花があり、それらは徐々に咲き始める。新しい小花は咲いている花を押し分けて開花しようとするので、見た目は色あせたところがない。1つの花部はこのようにして約3週間開花し続ける。

Ton 氏の好きな品種

A.Ambassador : 高さ 125cm 豪華な紫色、大雑把な見た目

A.Mount Everest : 高さ 100cm 純白、庭に必ずあるべき

A.jesdianum Early Emperor : 70cm 紫、輝くおしべ、4月初めに開花

A.jesdianum White Empress : Early Emperor の兄弟で、白タイプ 70cm 純白 輝くおしべ、4月初めに開花

A.His Excellency : 100cm 例外的な青紫色

A.schebertii : 50cm ピンク 直径 40cm もの巨大な花

A.Mercurius : 70cm 赤レンガ色 豪華な葉 遅咲き
A.Fimament : 70cm メタリックな紫 遅咲き
A.altissimun : 200cm 庭にあるととても目を引く存在
A.Globemaster : 70cm 紫 花が大きい



アリウムについて知っておくべきこと

アリウムは全く丈夫で、庭によく適応する。低木といっしょに境界線に沿って植えることもできる。特にシソ科の種類と合う。

育てやすい植物で、開花中だけでなく、花部が色あせても庭の中で絵になる魅力的な植物である。

その高さにもかかわらず、A.Ambassador, A.Mount Everest, A.His Escellency, A.giganteum のような丈夫な茎の品種は、**風や気候にも耐える**ので良い。

家、フェンス、生垣、他の日陰を作る建造物のすぐそばに植えると斜めに育つ。**十分な太陽が必要**で、太陽を求めて伸びるからだ。

ほとんどの品種はもっともタイミングのよい**5月、6月に咲く**。つまり春咲く植物が終わり、夏咲く植物が開花する前に、咲くということだ。

多様性がすばらしい。アリウムは種類とサイズが多様で、4月中旬から8月中旬にかけて開花し、短いA.oreophilumで約5cm、高いA.altissimumで200cm。

切り花でもすばらしく、花瓶にいけて10日はもつ。特に切り花によいのは、A.Globemaster, A.Purple Surprise, A.Ambassador, A.Mount Everest, A.His Excellencyだ。花の終わったものでも、装飾的な種の鞘が花瓶の中で美しい。もっとも魅力的なのは、A.christophii, A.schubertii。

アリウムは何もしなくても2年くらいもつ。その後は花壇から出して、涼しい乾燥した場所に保存し、次の秋に植える。

宿根化に向くのは小さい花のアリウムで、Allium ursinum(Ramson), A.cernuum, A.tuberosum(Chinese Chives)だ。**長い茎のA.altissimunであっても、大きな庭では宿根化して重要な役割を果たす**だろう。

実を作らない種類 A.Ambassador, A.Firmament, A.Pinball Wizardなどは、**受精しないので長く開花する**。

オニオンやネギなど食べられるアリウムは、食べる以上に、2年目には庭にさらに価値のある花をつける。

オランダでこれらの特別な球根を買うには、以下参照。

P.C. Nijssen www.pcnijssen.nl、Van Tubergen www.vantubergen.nl、P.Bakker www.bakker-hillegom.nl、Verberghe www.verberghe.nl、Rita van der Zalm www.ritavanderzalm.nl

今年の夏、猛暑という言葉通り、日本はずっと暑かった。世界的に干ばつや、森林火災、大雨、洪水とたいへんな夏に。生産者のみなさんは、体力的にも精神的にも厳しい夏になりました。販売する人も同じように厳しい夏でした。それでも季節はめぐっていきます。球根のドライセールスも始まる秋。少しでもお客様に夢を与えられるような動きに力を入れていきたいですね！

夢と言えば、今年の夏の大きなニュースになった歌舞伎の海老蔵さんと麻央さんの結婚披露宴。テレビや新聞でも大きく取り上げられました。4ヶ月間、鉢で冷蔵開花させた牡丹の花とたくさんのカサブランカが見事でした。使用されたカサブは600本とも700本とも言われていて、それらはすべて**新潟県の津南産**だったそうです。人々の記憶に残る、憧れの花の披露宴になりました。

オランダ国際球根協会ニュースレター第017号8月号 発行：オランダ国際球根協会

HP：<http://www.kyukon.org/> メールアドレス ibc@auroraip.com